



特集

私たちのフランス訪問記

令和7年度中学生海外体験学習事業



マルセイユ旧港

1月5日〜13日までの9日間、中学生海外体験学習事業で、中学生6人が姉妹都市であるディーニュ・レ・バン市を含むフランスを訪れました。日本とは全く異なる生活・文化を体験することで、中学生たちはどんなことを感じ、学んだのでしょうか。中学生たちが臨んだ中学生海外体験学習事業でのフランス訪問に迫ります。

釜石中学校3年 佐々木 茜^{あかね}さん

「学生の家」での交流

今回の海外体験学習では、姉妹都市ディーニュ・レ・バン市にある学生の家を訪問し、小学生から大人まで、幅広い年代の人と交流しました。小学生くらいの子どもたちは日本語で「こんにちは」や「ありがとう」と話しかけてくれ、中学生くらいの生徒とは翻訳機を使いながらビリヤードをして遊びました。みんなフレンドリーに接してくれてとても楽しく、すぐに仲良くなることができました。言葉が十分に通じなくても、笑顔や思いやりがあれば心は通じるということを知り、人と関わる楽しさを改めて感じました。



釜石中学校2年 菊池 すず^{すず}さん

とある港町の幸せ

初めに、マルセイユ旧港に着いた瞬間、船の多さに驚きます。港が街の中心であり、街の人は海と一緒に生きてきたんだ！とテンションが上がりました。魚の匂いから釜石と似た雰囲気を感じました。聞こえてくる人の声は楽し気で、生活の中のちょっとした楽しさに幸せを発見しました。

レストランでは、店員さんが日本人である私たちにもフレンドリーで、ここにも幸せを発見しました。人との些細な会話も自分が心地よいと思える居場所づくりに繋がると思いました。散策で見つけた幸せは、意識の持ち方を変え、人との関わりを増やすことが毎日を豊かにすると教えてくれました。今後は人の目や評価を気にせずに行いたいことには挑戦し、体験から日常生活に生かせる深い学びをgetしていきます。



甲子中学校2年 鈴木 秋音^{あきと}さん

姉妹都市を感じた体験

ディーニュ・レ・バン市は、パリの南東およそ650kmの山間部に位置し、春には街全体がラベンダーで紫色に染まるきれいな街です。釜石市とディーニュ・レ・バン市は三陸海の博覧会で展示された「アンモナイトの壁」をきっかけに、姉妹都市の提携が始まりました。

僕のホームステイ先はラグビー関係者のお宅でした。フランス国歌と一緒に歌ったときは、とても喜んでくれました。市内を案内していただいた詩人のクロードさんに、詩を和訳し、筆ペンで書いて渡したら喜んだ表情をされていました。スポーツや、文化で交流ができたのは、姉妹都市として繋がっているおかげです。自分もいつかのディーニュ・レ・バン市のグラウンドで、ラグビーを試してみたいと感じました。



甲子中学校2年 菅原 梨花^{りんか}さん

市長、市民との交流

フランスの市長や市民の皆さんとの交流を通して、文化や言語の違いを越えて人と人は繋がることができる実感しました。パトリア市長は忙しい中、私たちのために会いに来てくださり、温かく迎え入れてフランスのことを教えてくださいました。市民の皆さんとはお互いの文化を教え合い、言葉が伝わらなくても身振り手振りや翻訳機などを使って会話を楽しみました。また、交流した人とも連絡を取り続けています。今回の中学生海外体験学習事業では相手の考え・意見を尊重することや言葉が伝わらない中でも一生懸命伝えようとするのが大切だと学びました。今回の経験を活かし、これからも自分の視野を広げていきたいです。



釜石中学校2年 川端 俐湖^{りこ}さん

ガッサンディ校での交流

1月9日にガッサンディ校と交流する機会がありました。生徒と関わることは少なかったですが、広い学校を案内していただいたり、工作でカレンダーを作ったりするなど、とても楽しい時間を過ごしました。

校舎は3階建てで、外が廊下になっていて校庭のような遊び場とつながっていました。また、寮がある、副教科が選択制、不要になった衣類などを売るリサイクルショップがあるなど、日本ではあまりない仕組みがたくさんあって、面白かったです。釜石市の小中学校にも、この仕組みを導入してみるのがいいなと思いました。活気のある学校でした。



唐丹中学校2年 内川 愛優^{あゆ}さん

ホームステイ先での体験

最初は自分からなかなか話すことができなかったけれど、ホストファミリーは一生懸命コミュニケーションを取ってくれて、少しずつ翻訳機や、英語、ジェスチャーで話せるようになりました。ファミリーとは、ビリヤードやマリオカートをして、夕食はピザ屋さんに行き大きなピザを食べて、家ではお父さんがラザニアやクロワッサンを作ってくれました。

フランスでは、はっきりと自分の意見をジェスチャーなどを使って言わないと通じないことに気付きました。一方で、言葉が通じなくてもファミリーが心優しく迎え入れてくれたことで、フランス人の心の温かさにもふれることができました。ホームステイの3日間は、自分のことを見つめ直すことができ、成長が感じられる経験になりました。

